

## 視察研修報告書

1. 日時・場所 令和6年1月23日(火) 山梨県 奈良義野役場

2. 出席者 情報企画課 副参事 小坂 昌平氏

3. 目的 奈良義野の少子化対策 (合計特殊出生率2.95)

## 奈良義野の概要

面積 69.52km<sup>2</sup> (東西約9km / 南北10km)

人口 5751人 世帯数 2,533世帯 (2023.3.1)

中心部から半径2km以内人口の8割が定住者

コンパクトシティ

特色 自衛隊駐屯地 (隊員400名) 演習場 (行政区の

平成の合併でも「一貫して歳出削減と施策への割)

見直しを行い、20年間の子育て支援施策を拡充して

取り組みが高く評価され、昨年2月の岸田総理大臣が

奈良義野の取り組みを視察された

## 奈良義野の子育て支援施策

功利的な「経済的支援」(町の一般会計予算規模約45億円)  
 (うち子育て支援単独事業費約2億円)

① 保育料が国基準の約半額、第2子はその半額、第3子以降は無料

② 小中学校の給食費の半額を町で負担 (来年度から無料)

③ 小中学校の教育教材費無料化

④ 高校生までの医療費無料

⑤ 大學生に町独自の奨学育英金で卒業後に町の定住で金額返済

⑥ 特定不妊治療を年間20万円を削減 免除

⑦ 在宅育児見守り保護者に対し毎月15,000円の支援金

⑧ 高校生への就学支援として、年間240,000円の支援金

⑨ 中学3年生までの子供を育てるひとり親に月額5万4千円を支給

第2子以降は1人2万7千円加算。

### ネットの支援

子育て支援センター

子育て世代が気軽に通える施設。子育てアドバイザー<sup>(5名)</sup>常駐

一時保育「できる」から子供を預けたら一時子育て援助会員の依頼できる制度 1時間 500円

「自主保育だけの子」保護者と保育士が毎週火～金曜の当番制で子供達の面倒を見ながら遊びや活動を行う。

各種イベントや座談会の実施

平成24年4月1日 奈良町子育て支援宣言を発表

### 地域課題の解決

レジとコンビニ事業(地元創生資金活用)

事業主体: 一般社団法人 レジとえん(町民主体で法人化)

- 目的 ① 子育てから就労できる仕組みや環境を整備する
- ② シニア世代や「時間に余裕のある人」「社会の役に立ちたいと考える人」らが少しでも働くことができるようになる
- ③ 一つの仕事をみんなで「ワークシェア」することでより多くの人が地域や社会に関われるように「総活躍のまち」をつくる。
- ④ 町の中に今ある仕事や新しい仕事の「受け皿づくり」をすることで新たな産業の創出や働きやすい職場環境を作っていく。
- ⑤ 仕事を任せる側(事業主など)の業務の効率化を図る。

子供の見守り「こもりん」

大人が交代制で子どもたちを見守る仕組み

働く仕事の提供・企業誘致

16社が直地 約 800名が就労。(内町内町600名が就労)

## 地成課題の解決

### ○ 賃貸住宅の整備

- ① 戸建て賃貸住宅 100万円/戸 助成
- ② 集合賃貸住宅 50万円/戸 助成
- ③ 空きリノベーションによる賃貸 100万円/戸 助成
- ④ グリーンビルディング奈良義 (若者向け住宅) 12棟整備

### ○ 分譲地整備

- ① 分譲地紹介優良制度 30万円
- ② 新築住宅普及促進事業補助金  
新築 20万円 地元業者施工 30万円 家族加算(上限) 50万円  
計 100万円 平成3年～平成23年迄 87件

### ③ 民間分譲地整備補助

1区画 50坪以上 補助対象は造成工事費(下水道費除)  
補助上限額 1区画 100万円 (業者)

分譲地予定地とて約4.5haを確保

今後整備に向け PPP/PFI を活用

## 高い合計特殊出生率の鍵は

「安心感」

住むところがあって安心

働くところがあって安心

子育ての負担が軽くて安心

子育ての悩みや喜びが共有できて安心

町のみんなが子育てを応援してくれて安心

## 視察 所修後 の 所感

現在、我が国最大の社会的課題は人口減少社会の本格的な到来です。その中で大きなポイントが合計特殊出生率のアップです。(奈良町 2.95) 奈良町の出生率の 2.95 は異次元の厚い子育て支援の充実は勿論、メンタル面への支援、更には地域課題の解決等、取り組むことで少子化対策に取り組んでいくのが大きな要因です。

京都府に於いても出生率のアップ(現在 1.21 令和 4 年度実績、目標値 令和 7 年度 1.50)に取り組んでおり、目標値達成は、まだ厳しい状況にあるかと感じます。決して少子化対策が子薄だとは感じませんが奈良町は行政と住民が一体となって取り組むことで取り組んでいく結果だと感じます。全国的に注目されるまちづくりには、取り組むの取り組みが必要不可欠です。

尾道市

1. 日時 令和6年1月24日(水) NPO法人尾道空家再生

2. 出席者

プロジェク事務所  
尾道市三軒茶所3-23

0 目的 空家対策  
NPO法人尾道空家再生プロジェクト

0 ミッション

尾道は古くからの港町として有名ですが時代の流れにより  
駅前や港湾は開発され古く歴史の面影は失われつつあり  
その一方で入る方の斜面地や路地裏は時代の取り残され  
より古く古い家並みが残っており不便さゆえに空家が増え続け  
少子高齢化と中心市街地の空洞化の象徴と取りつた  
そんな空家の再生事業を通じて古く町並みの保全と次世代の  
コミュニティの確立を目的として活動してゐる。

0 組織の概要

設立年 2007年、2008年よりNPO法人  
メンバー数 149名

0 これまでの活動概要

- 2007年9月「尾道空家談話」開催(以後毎月開催)
- 2008年3月「尾道まわりづくり発表会」開催(以後毎年開催)
- 6月「尾道建築塾」開催開始(以後毎年開催)
- 2009年2月「子連れママの井戸端サロン・北村洋品店」完成
- 8月「空家Press」発行(以降毎年発行)
- 9月「第1回尾道空家再生! 自分宿」開催(以降2年に一度開催)
- 10月「尾道市空家バンク」を事業受託開始
- 2010年2月「つるハウス」完成 12月「森の家」完成
- 2011年6月「ツタの家」完成 9月「アツアツの小さな家」完成
- 9月「光明寺倉庫」完成 11月「前田荘」完成
- 2012年1月「坂の家」「路地の家」完成
- 2月「ユネスコ未来遺産」に選定
- 12月「尾道ゲストハウス あなごの」として営業開始
- 2013年9月「第27回入間力大賞」総務大臣奨励賞受賞
- 11月「あなごのまちづくり活動賞」総務大臣賞受賞

- 2014年1月 「第9回JTB交流文化賞」優秀賞受賞  
シェアハウス「りるる」完成
- 2015年1月 平成26年度ふるさとづくり大賞受賞
- 2016年3月 シェアハウス「モクサン」完成
- 4月 尾道ゲストハウス「みほらし亭」営業開始
- 2019年7月 「松翠園・大広間」完成 (登録文化財)
- 2020年2月 「尾道カウチハウス」完成 (登録文化財)
- 2021年11月 日本建築士会「第11回まちづくり賞」大賞受賞

尾道空き家再生プロジェクトでは、「コミュニティ」、「環境」、「建築」、「観光」、「アート」の5本の柱を軸に活動を展開している。

併修後現地視察をレポート。

車が入らない狭い路地裏や急峻な斜面地、様々な古い建物が密集して建ち並ぶ内には焼屋化している空き家も多数見られる。一方で高台から見下ろす瀬戸内海への尾道水道の景観は素晴らしく、その魅力に引き込まれる移住者や住民も多く見られる。このような環境のもと多くのまちを愛する住民(約150人)が街を良くしようと、情熱と団結でNPO法人を立ち上げ15年間に及ぶ活動の実績を積み上げている等、感銘を述べた。

まちづくりには行政も勿論不可欠。そこに住民の力が加わって大きな成果が得られる事例を視察できた。

令和6年

岡山県

井原市役所

1. 日時 1月25日(木)

2. 出席者 観光交流課 課長 藤岡 健二氏

3. 目的 「美しい星空」の下でのまちづくり推進事業

井原市の概要

井原市は岡山県の西南部に位置し、西は広島県に接している。面積は243.54km<sup>2</sup>、人口は38,384人(令和2年)。地形的には井原市街地を除けば、ほとんどが山々の間まわりの農村地帯(内美里地区の面積22.7km<sup>2</sup>、人口5,486人)。

美里町の星との関わり

- 1987年8月に美里水路観測所広場で「スター・ウォッチング」星空の街を開催。その結果、翌年1月に美里町を含めて全国108自治体が「星空の街・あおぞらの街」に選定された。
- 1993年「美里天文台」2月7日に一般公開。
- 2002年スペースデブリ(宇宙ゴミ)が地球に接近する可能性のある小惑星について観測を行い美里スペースガードセンター開設。
- 「美しい星空を守る美里町光害防止条例」の制定(1989年11月22日)。
- 2021年11月1日「星空保護区(ダークスカイゾーン)」への認定。
- 光害の低減・星空保護の取組の再活性化。  
パナソニック社との連携により光束比0%かつ色温度2000K以下の仕様と耐湿性を開発。防犯灯の交換389基、公共施設の外照明67施設344基、県国道の道路照明7基。

## 星空観光の推進

- 日本航空との共創による「星降るレストラン」の商品化
- 美星町観光協会×JR西日本×日本旅行による旅行商品化

## 視察研修後の所感

私の知識不足が知らずやんか、市内の単次小学校のプラネタリウムが設置されていたが知りませんでした。下記一般公開はしてありませんが、一般市民が認知し、利用する或いは他校の小中学生が手軽に利用するのは難しい状況にあるかと思っております。大塚市は面積の半が山林で覆われ地形的に星空観察に適した地域です。

特に高原山の八方ヶ原の山の駅、周辺は通所かと考えた「山の駅」の更なる活性化が課題と存している中、

多大な予算を費やさなくても、ロマンのある星空観察、観光は出来そうです。本市の観光事業の推進の為、星空観光を定めてはと考へました。